

背景・目的

● 背景

下諏訪町は、古くから諏訪大社の門前町として、江戸時代においては中山道と甲州道中の交わる温泉宿場町として栄え、近代においては製糸業や精密機械工業により発展してきました。

しかしながら近年、特に地方都市で急速に進む人口減少や高齢化により、地域の経済や社会に及ぼす影響への懸念が強まっています。そのため、地域経済の活性化や、地域社会に暮らす人々が誇りと満足感を抱ける持続可能なまちづくりの推進が喫緊の課題で、当町においてもこの課題解決に向けたまちづくりを図る取組が必須となっています。

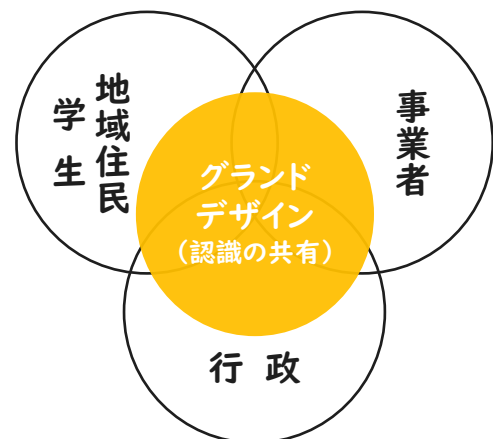
また併せて最近では、移住者による出店、赤砂崎公園・諏訪湖周のサイクリングロードの整備、国道20号バイパス事業等が進められており、当町におけるまちづくりに新たな風が吹いてきています。

こうしたさまざまな動きがある中で、地域住民・事業者・学生等、ここに暮らすすべての「ヒト」と行政がまちづくりに対する認識を共有してまちづくりを進めていく必要があります。

● 目的

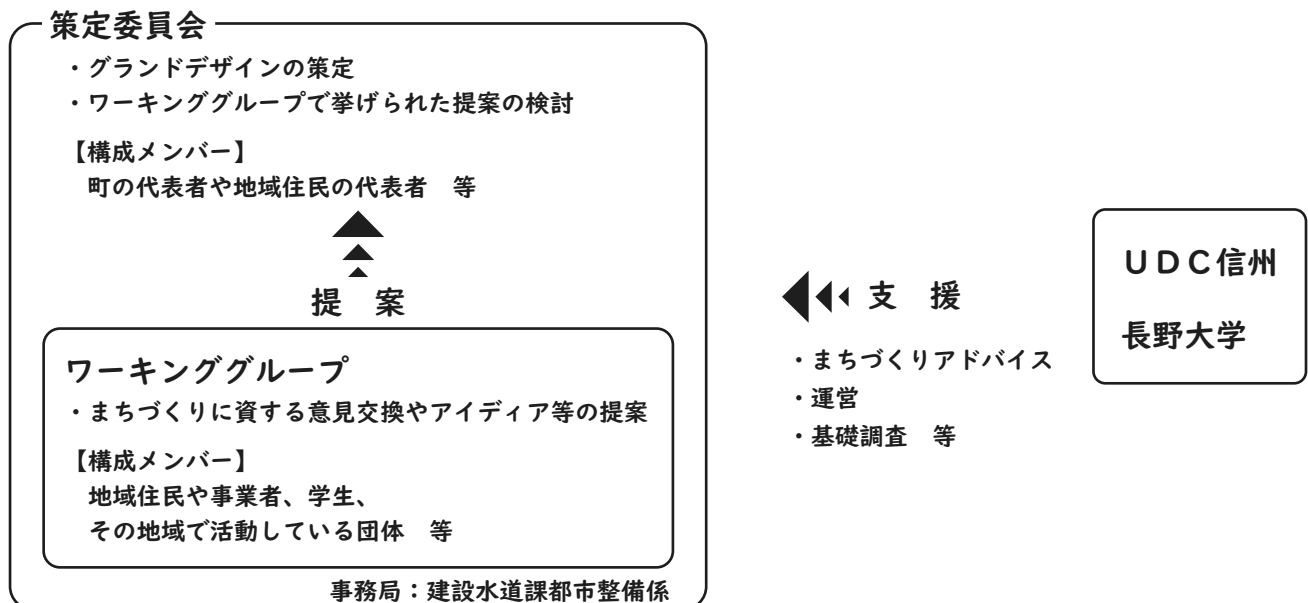
「下諏訪町ランドデザイン」は、みんなが誇りと満足感を抱ける「住みたいまち、元気な声がひびくまち」の実現に向けて、10年、20年後の将来像を共有するために、地域住民・事業者・学生等幅広い立場の方からの意見を集約し、策定するものです。

策定後は、地域住民・事業者・学生等ここに暮らすヒトと行政が一体となって、将来像の実現に向けたまちづくりを進めていくことを目的としています。

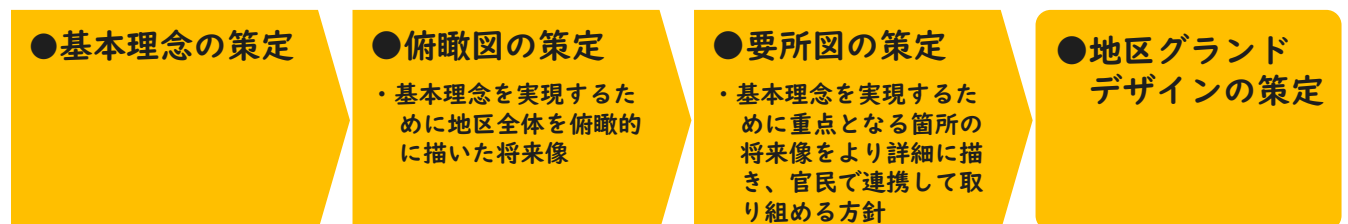


2 策定のプロセス

● 策定体制



● 策定の流れ



3 実現に向けて

● 実現に向けた体制

